



## 【連携内容】

- 市域内エネルギー資源の最大限利活用・地産地消
- 公共施設等の脱炭素化・災害時のレジリエンス強化による先進的まちづくりの推進



## 中心施策イメージ



### 市域内エネルギーの地産地消

- 市域内太陽光
  - 既存太陽光(卒FIT電源)
  - 新設太陽光発電
- その他再生可能エネルギー
  - バイオマス発電 等
  - 需要側蓄電池・EMSと連動した面的エリアエネルギーマネジメント
  - 自己託送・環境価値証書化



### 公共施設等の脱炭素化

- 再エネ導入と省エネ
  - 建物のZEB化等
- モビリティの電化等
  - 公用車EV化、充電設備の拡充
  - 蓄電池としてのEVの活用
- グリーンインフラ整備・環境教育
  - 森林吸収源対策
  - 脱炭素型ライフスタイルへの行動変容の促進



### 災害時のレジリエンス強化

- 分散型エネルギー設備の導入
  - 蓄電池 等
- エネルギーの一元管理・最適化
  - EMS(エネルギー・マネジメント・システム)の導入
  - 一元的な見える化を通じた需給調整
  - 系統の最大効率化

市域内の再エネ  
(オサト電源の導入等)

新設太陽光発電



既存の  
再生可能エネルギー



■ :再エネ電力

オフサイトPPA

自己託送

環境価値  
証書化

市域内の需要場所(オサト電源、EMS導入等)

ZEB化  
(再エネ導入・省エネ)



森林吸収源対策・  
環境教育



公共施設群

エネルギー一元管理・  
最適化

分散型エネルギー設備導入



モビリティの電化

民間施設・産業部門

【将来取組】・民間や産業部門も巻き込んだ再エネ地産地消・系統最大効率化・VPP形成